



館山平砂浦海岸より丘をのぞむ

謹賀新年

加賀町会
だより

声かけで 安心・安全 みんなの街

発行 加賀町会総務部

新年のご挨拶

町会長 中井 英一

新年おめでとうございます。

町会の皆さん、どのような新年を迎えでしょうか？

残念ながら、新年のおめでたい気持ちを打ち砕く未曾有の大災害が元日から能登半島で起きました。被災した方々に心からお見舞い申し上げます。

この日十六時過ぎ頃、突然スマホのアラームが鳴り、テレビをつけたところ、震源地は能登半島であり、津波が来るから高台へ逃げて下さいという女性アナウンサーの叫び声を聞き、これはとんでもない大災害が発生したのではと思うと共に、この様な地震がこの地域で発生したらどうすべきかと改めて考えさせられました。

『日本ではいつ、何処で地震が起きても不思議ではない』と言われていますが、正にその通りであり災害対策の重要性、必要性を改めて感じております。

当町会は災害対策については、重要対応課題の一つとしてこれまでも取り組んでおり、毎年の安否確認訓練、そして災害研修は勿論のこと、一昨年から避難所訓練も行っております。具体的には一丁

目の方々の避難が中心となる中原中学校での訓練、二丁目の方々の避難が中心となる光ヶ丘中学校での訓練、そして三丁目の方々の避難が中心となる増尾西小学校での訓練を近隣町会と共にそれぞれ実施し、今年もより現実に即した避難所訓練を柏市及び各学校と共に実施する予定ですので、是非ご参加頂き、災害発生時の対処等を確認して頂きたいと思えます。

そして、その他の町会活動については、何と云っても夏祭りの開催でしょうか！前年から再開した夏祭りを昨年八月末に開催し、飲酒を控えたにも拘わらず、千名以上の方々が参加して大盛況のお祭りとなりました。今年は昨年に増して新しい趣向を取り入れて八月に開催予定ですので、大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

年の初めに災害が起きた二〇二四年ではありますが、お子さん達から高齢の方々まで「加賀に住んで良かった、住み続けて良かった」と言われ続ける加賀町会に致したく、本年も引き続きのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

最後に干支の話で締めたいと思います。本年は辰年ですね。ご存知かも知れませんが、十二支の中で辰（龍）だけが架空の動物であ

り、縁起が良い生き物と云われております。十二支を作った古代中国の人は、龍に夢を託したのでしようか！

加賀町会の皆さん、本年を「登り龍」の年にしようではありませんか！どうぞよろしくお願い致します。

増尾西口商店会
会長 神田 登

（手打ちそば みどり）

明けましておめでとうございます。日頃より増尾西口商店会をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

昨年はコロナが緩和され、待ちに待った夏祭りが四年ぶりに開催されました。商店会ではソフトドリンクを販売しました。小さなお子様がお金を握りしめて、どれにしようかと悩んでいる姿がとても可愛らしく、やっと日常に戻りつつあると実感しました。

今年の夏祭りは、昨年以上に盛り上がるよう、商店会も町会の皆様と一心となつて取り組んでいきたいと思えます。

本年も商店会一同、頑張つてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



裏面に続く↓

いきいきクラブ 会長 四方 元一

新年明けましておめでとうございます。正月早々能登半島大地震が発生でびっくりしました。未だ余震が続く、被災された方々の救援、ご健康、復旧の進展を心よりお祈り致します。

寿楽会に代わり新たに誕生致しました加賀いきいきクラブは、一昨年は例会で「ボッチャ」というスポーツを体験し、昨年は十月に東京の迎賓館と葛飾柴又を巡る日帰りバス旅行を実施し、十五名が参加しました。当日のお昼は食事処川千家で楽しい会食となりました。

十一月二日、十名の参加者をもって「カラオケ部」も発足、十一月二十八日には加賀第一公園でグランドゴルフ部が発足しました。



いきいきクラブでは、今後も皆さんで楽しみながら健康増進を図る企画を考えています。新しい会員の方も大歓迎です、お待ちしております。

加賀親子会 会長 加藤 駿

本年も、加賀親子会をよろしく

お願いいたします。昨年はコロナ五類移行に伴い、活動の制限が緩和され、気持ちの面でも弾みのつく一年となりました。



夏祭りでは、マスクなしで踊る姿が見られたこと、秋の遠足ではアンデルセン公園を思う存分遊び回ったこと、クリスマス会では、四年ぶりにボウリングをしたこと、

さて、今年度は、四年生五名が、四月に五年生へと進級し、高学年となります。インリーダー研修という柏市の子どもの会のメンバーが集まって、リーダー性を学ぶ催しもあり、さらに充実しそうです。ただ、彼らもあと二年で卒業を迎えます。親子会では、0歳から会員を募集していますので、いつでもお声かけください。引越してこられた方、子どもだけでなく、大人も仲間を増やすチャンスです。一緒に楽しみましょう。



加賀たすけあい 会長 ネットワーク 前島 裕美子

新年のご挨拶を申し上げるべきところですが、元旦早々能登半島を襲った激震には言葉も無く、一日でも早い復興を願わずにはいられませんでした。

幸いにして平成十九年「加賀たすけあいネットワーク」を立ち上げて以来、加賀町会にはこれといつて大きな災害は無く、庭木の剪定、草取り、清掃活動、ゴミ出し、家事援助、町会行事への参加（夏祭り・炊き出し訓練）ほっとサロン開店等で活動して参りました。

しかし残念ながら発足当時の会員も、高齢化で退会を余儀なくされた方も多数いらっしゃいます。当面の課題として、次世代を担う若い世代の方に活動を引き継いで頂きたいと考えております。「Kinet」や民生委員さんの支えがあつて高齢者は守られてはいますが、何が起きるか予想もつかない時代、お互いに助け助けられ、加賀町会に住んでいて良かったと言ってもらえるように頑張りたいと思っておりますので、皆様のご協力を是非ともよろしくお願いいたします。



安否確認訓練を 実施しました



十二月十七日に、今年度二度目の安否確認訓練を実施致しました。今回は、いざという時に備えて、安否確認プレートの存在を意識・確認して頂く事を目的とし、班長さんによる掲示の確認は行わず、各丁目の副会長を中心に、役員が安否確認プレートの掲示状況を確認しました。結果、掲示率は概ね四十五パーセント前後という低いものでした。

元日に起こった能登半島地震の状況を目の当たりにして、他人事とは思えませんでした。訓練は日頃から繰り返し行うことが重要ですので、今後も繰り返し訓練を実施して参りますので、ご協力をよろしく願います。

（環境防犯防災部長 竹林）

次回の班長連絡会

三月三日（日）です。

◎お悔やみ申し上げます

九B班 三栗野 マサ子 様

○あながき

大変な幕開けとなつてしまった新年ですが、心穏やかな日が一日も早く訪れますように。

（林・松本・小林）

